

ドイツ国際平和村ではインターン生を募集しています！



子どもたちとの出会い

アフガニスタン、アンゴラなどの世界の子どもたちとの出会いは何ものにもかえられません。子どもたちは重いケガや病気を抱えていても、それを乗り越えるほどの生きるパワーにあふれています。

ドイツや異文化との出会い

ドイツ・オーバーハウゼン市の施設にて、ドイツ語を使用する活動です。これまで勉強してきたドイツ語を実践で活かします。また、宿舎では日本だけでなく、ドイツや他の国からのインターン生と共同生活を送ります。

仕事との出会い

子どもたちが元気になっていく姿、笑顔で家族のもとへ帰る姿を励みに、この活動に関わる人々との協働作業です。

活動分野

子どもたちの日常生活のお世話

食事やシャワーの介助。排泄の世話とチェック。掃除。部屋の片付け。服の管理。子どもと寄り添うこと。子どもたちにとって、最も身近な存在となるのが、この分野のスタッフです。子どもたちが毎日どんな生活をしているのか、どんな感情を抱いているのか、大きい子どもたちであれば家族や母国への想いも一人ひとりが強く抱いています。そういった子どもたちの感情や想いと向き合い、子どもたちに寄り添いながらも、実際は子どもたちが教えてくれることの大きさを感じることでしょう。



ハウスキーピング (キッチン・洗濯場)

日々、200人近くの食事の準備のアシスト。大量の野菜の皮むき、カット、食後の食器洗浄。日々配達されるたくさんの食材を運び入れる力仕事。キッチン内の清掃、整理整頓、ごみ捨て。洗濯物関連業務。

全てが業務用サイズなので、体力が必要です。ハウスキーピングスタッフの日々の丁寧な業務があること、子どもたちは無事に生活が送れ、元気になれるのです。



リハビリセンター (リハビリやケガの処置)

ボランティア医師による診察、包帯替えやリハビリを待っている間、待合室で子どもたちと一緒に遊ぶことも大切な仕事の1つです。看護師としての経験がある方には、処置室における業務（包帯替え、傷口のチェックなど）もお願いしています。理学療法士、作業療法士によるリハビリも行っています。※リハビリセンターで活動して下さる方には、医療関係者の方を優先させていただいています。



▶▶ 条件

- ・ 6ヶ月から1年までの滞在が可能であること
- ・ ドイツ語能力（担当していただく分野にもよりますが、独検2級やGemeinsamer Europäischer Referenzrahmen für Sprachenの基準でB1修了程度のドイツ語能力を目安としています。子どもたちやドイツ人スタッフとの会話、仕事の指示も全てドイツ語なので、特に聞いて理解する力が必要です。また、連絡事項などを読んだり、記入したりすることもあります）
- ・ 他のインターン生との共同生活、共同部屋であることをご理解いただけること
- ・ 18歳以上の方（高校生の方はお断りしています。）
- ・ A・B型肝炎の抗体を保持している方 ※抗体検査報告書の提出をお願いしています。（ご応募時に抗体をお持ちでない方には、インターンシップ開始までの間にワクチンの接種をお願いしています）
- ・ はしか、風疹、おたふく風邪の予防接種記録を提出できる方
- ・ 健康で体力のある方
- ・ Praktikant/in（インターン生、研修生）という立場になり、シフト制で職員と同じ時間数（週40時間の計算）、活動に参加することをご理解いただけること（責任や業務内容は、常勤職員とは異なります。）

*特別な技術や資格は問いません。

●○○○詳しい情報や体験談は是非HPをご覧ください! ●○○○

HP: 「<http://japan.friedensdorf.de/>」

トップページから「ご協力ください」→「インターンシップ」に移動して下さい。